

「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域の活力向上

5しまなみ風景街道

地域のねらい

目的:瀬戸内しまなみ海道地域に広がる景観・歴史・文化・芸術をテーマに、「訪れる人」と「もてなす地域」の豊かな交流による地域の活力向上を目指します。

方針:地域の景観・自然・歴史・文化・観光資源の保全と魅力向上に取り組むとともに、瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)及び瀬戸内海横断自転車道(しまなみ海道サイクリングロード)を主軸にした地域資源の利活用を官民一体となって推進します。

活動エリアと地域資源

活動エリアは、広島県・愛媛県にまたがり、瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)沿線の尾道市から今治市にわたります。



本圏域は、瀬戸内海国立公園の情緒豊かな多島美と、その景観との調和を考慮して設計された瀬戸内しまなみ海道の橋梁が織り成す眺望を有する地域です。また、村上水軍の史跡、浄土寺や大山祇神社をはじめとした寺社仏閣、全国的にもまれな海岸平城の今治城などの歴史資源や国宝・重要文化財、伝統芸能などの文化資源をあわせ持っています。

さらに、3つの本州四国連絡ルートの内で唯一、瀬戸内海を徒歩や自転車で横断するとのできる「しまなみ海道サイクリングロード」を持つ本圏域は国内外のサイクリストからも高い評価を受けています。

瀬戸内しまなみ海道の開通から二十五年を経過した現在、様々な組織や団体により、県境を越えた交流・連携が一層強化され、具体的な行動が行われています。



地域の活動内容

近年の主な取り組み

- ①「しまなみサイクルオアシス」「しまなみ島走レスキュー」の設置
- ②「春の塔頂体験」「親と子の橋体験セミナー」の開催
- ③「瀬戸内海しまなみ海道サイクリング大会」の開催
- ④「瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ」「しまなみ縦走」の開催
- ⑤しまなみ海道レンタサイクル事業、サイクリングロード整備事業
- ⑥「サイクリングしまなみ2022」の開催
- ⑦「ビジネスセッション」の開催



サイクリングロード整備事業



親と子の橋体験セミナー



瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ



瀬戸内しまなみ海道サイクリング大会

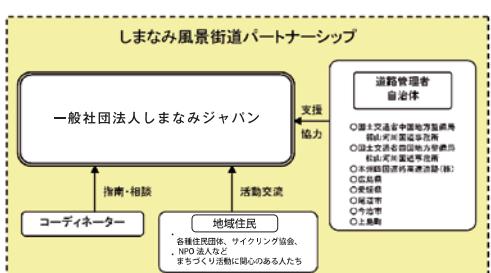
地域の推進体制

今後の取り組み

これまでの取り組みを精査するとともに、まちづくり交流会等での地域住民や団体との情報交換や意見交換により既存事業の見直しや新規事業の企画検討を行います。

一般社団法人しまなみジャパン

瀬戸内しまなみ海道周辺地域の観光を担っていた任意団体「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」(尾道市、今治市、上島町の行政、商工観光関連22団体で構成)を発展改組し、国内外多くの人に来訪される地域となるために、エリア全体の一貫したマーケティング戦略のもと、広域的にマネジメントし、民間事業者と協働しながら観光産業振興を図る日本版DMO組織として「一般社団法人しまなみジャパン」を設立しました。



風景街道パートナーシップ

参画する各団体・組織が、連携・協力して具体的な活動を行います。